



藍による

Yakumo Ran ni yoru
Seidorei Choushoku

R18
FUTANARI/MALE
甘味物
ちと

一
時
の
戯
れ

Yakumo Ran * MOB(Kogitsune) Touhou Project Unofficial Fanbook

八雲藍×子狐 8

夜間禁書

八雲亭の地下には
「八雲藍 専用」の
調教部屋が実在するらしい

そこには里から追われ
帰る場所が無い者
道を外した非行少年
または外界を越え
連れて来られた者も居るかもしれない

しかし確証はないのだ
「それは何故か」って？

ここに入った者達は二度と
地上の光を見る事はできない
誰も外へ出て此処の存在を
触れ回る事などできないのだ

幻想郷の賢者
八雲紫が従者の妖獣

九尾の狐 八雲藍に与えた
表には到底出せない
様々な欲望を発散させる為の

まるで幻想郷から
切り離されたような
別世界とも表せる部屋

そとといふでは今日も

定刻になると重厚な扉が開き





ご主人様の戯れが始まる

それだけが僕の生きる理由



さあ準備運動は終わりだ
立ってごらん

はい…

ご主人様に沢山
使って貰える事が

僕の幸せ

今日はどんな風に
僕を使ってくれるのか

想像するだけで
射精してしまいそう

こっちへおいで





いつも私に乗られてばかりでは
つまらないだろう？

今日はお前が上に乗って

ご奉仕してみようか

簡単な事だ



ご……ご主人様……



あっ!!



ほら暴れると落ちるぞ

ポッ

ふふっ
相変わらずお前は軽いな



小動物みたいに
扱いたくなくて

140
ふっ♡

あっ...

犯し甲斐がある



ほらこれで挿れやすいだろ？

おちんちんが欲しければ
自分で腰を落としてみろ

ククッ

ククッ

ククッ

ククッ



じ...自分で...

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ



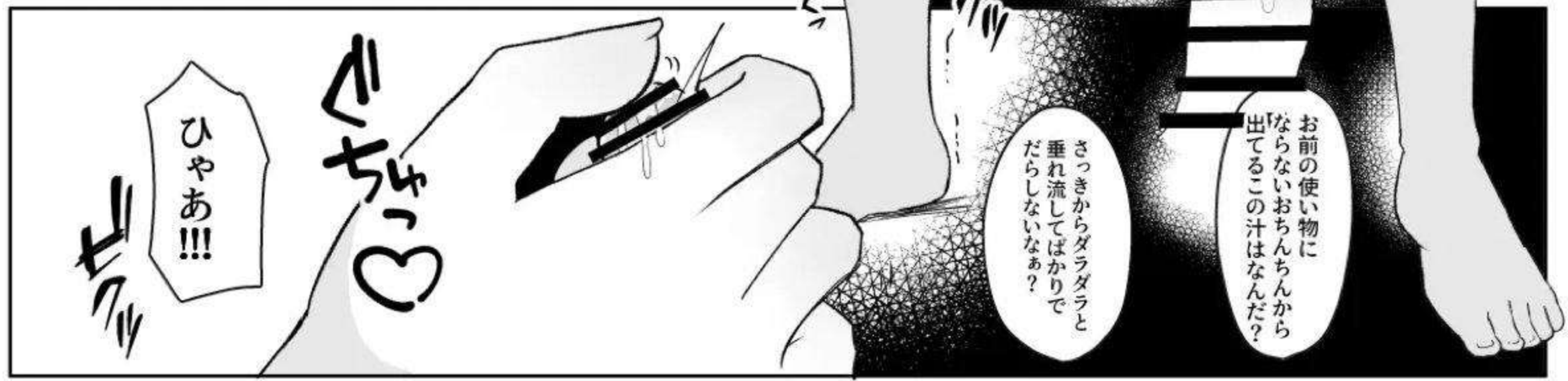
まさか亀頭しか挿入して
ないのにイってるなんて事
ないよなあ？

ごめんなさい...

ごめんなさい...

頑張らなくちゃ...

イって良いなんて
一言も言った覚えは
ないが



お前の使い物に
ならないおちんちんから
出てるこの汁はなんだ？

さっきからダラダラと
垂れ流してばかりで
だらしないなあ？

ひゃあ!!!

ちゅっ



どうした
腰が浮ついているぞ

おちんちん触られて
また軽くイったのか？

ごめんなさい!!
ごめんなさい!!

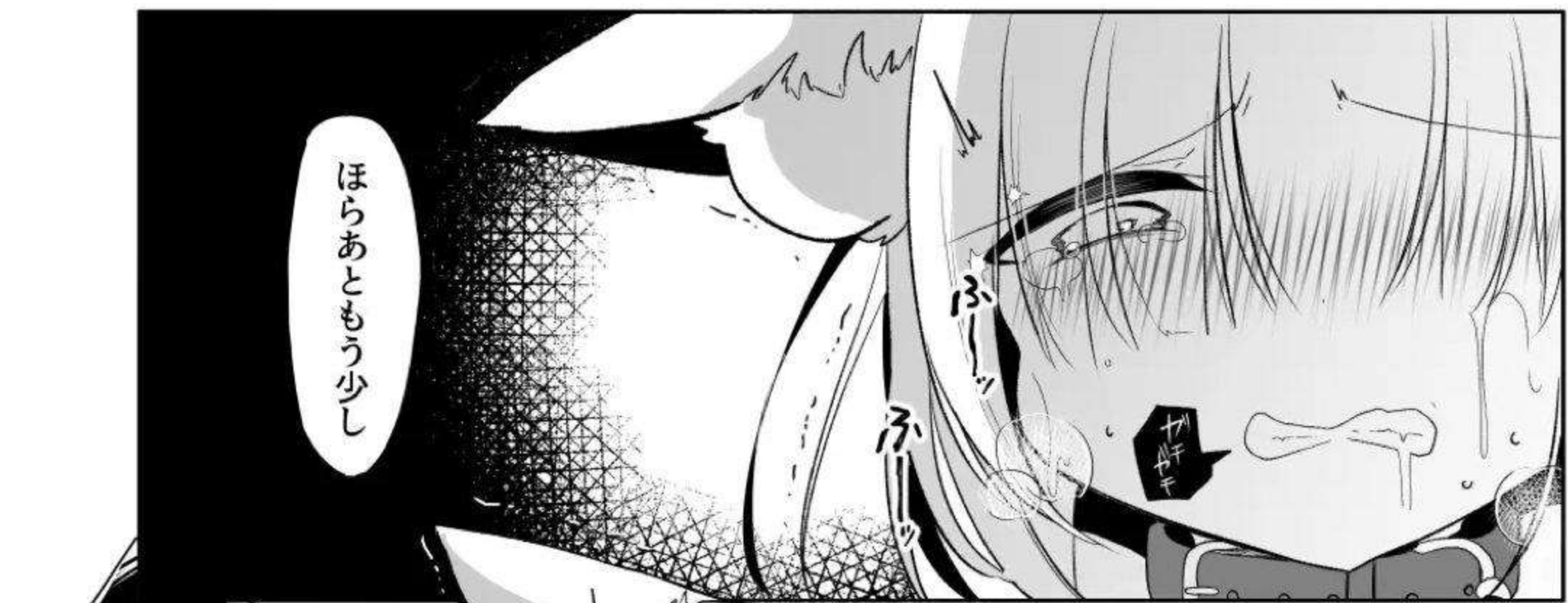
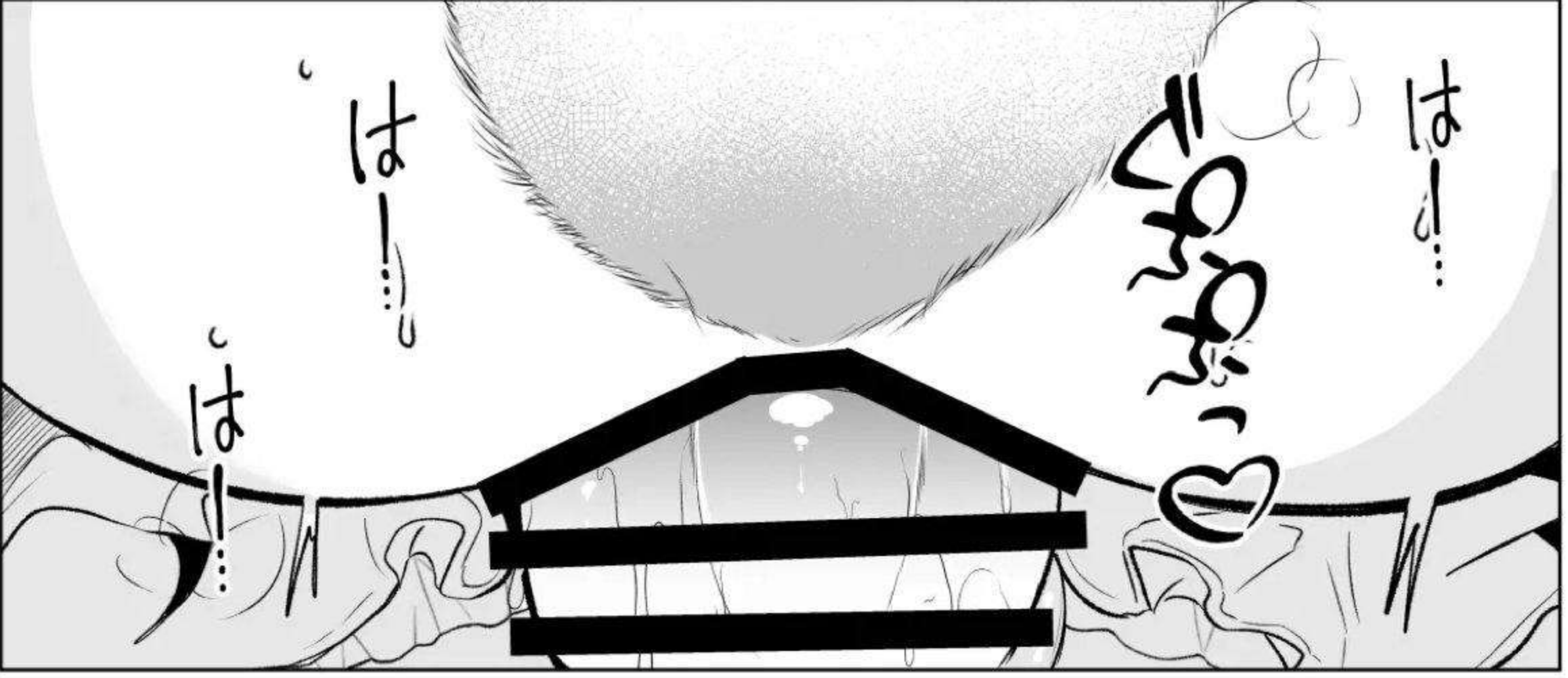
あーあっ！

いつまで
止まってるつもりだ？

まだ半分も挿入して
ないぞ？

ひっ！
あああああ♡

ちゅっ



ほらあともう少し

もっ...ああああ♡

「しゅじんさま...あっ
たまっぽ...やっ!! ああっ♡
でちや...
でちやいます!!

どうした?
おちんちんも可愛がって
欲しいのか?

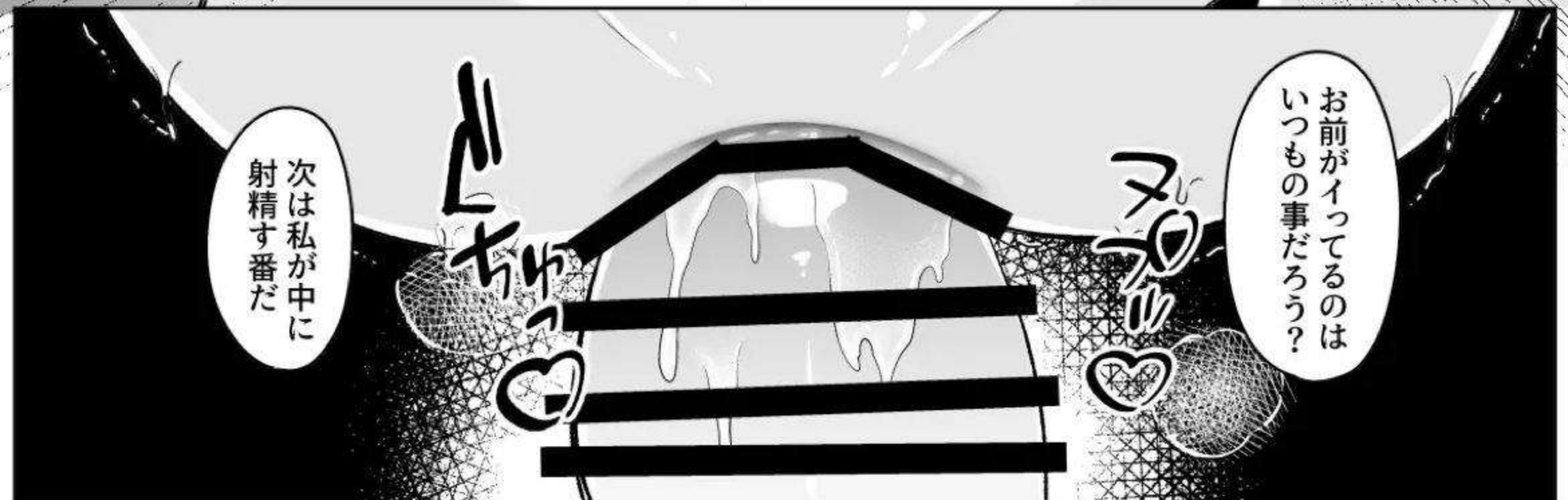
ああ!!



んー

あっ!!きゃきゃ!!...!!
きゃ...うっ...♡

全部挿入ったな



こうしてお前を
ハメるのも悪くない

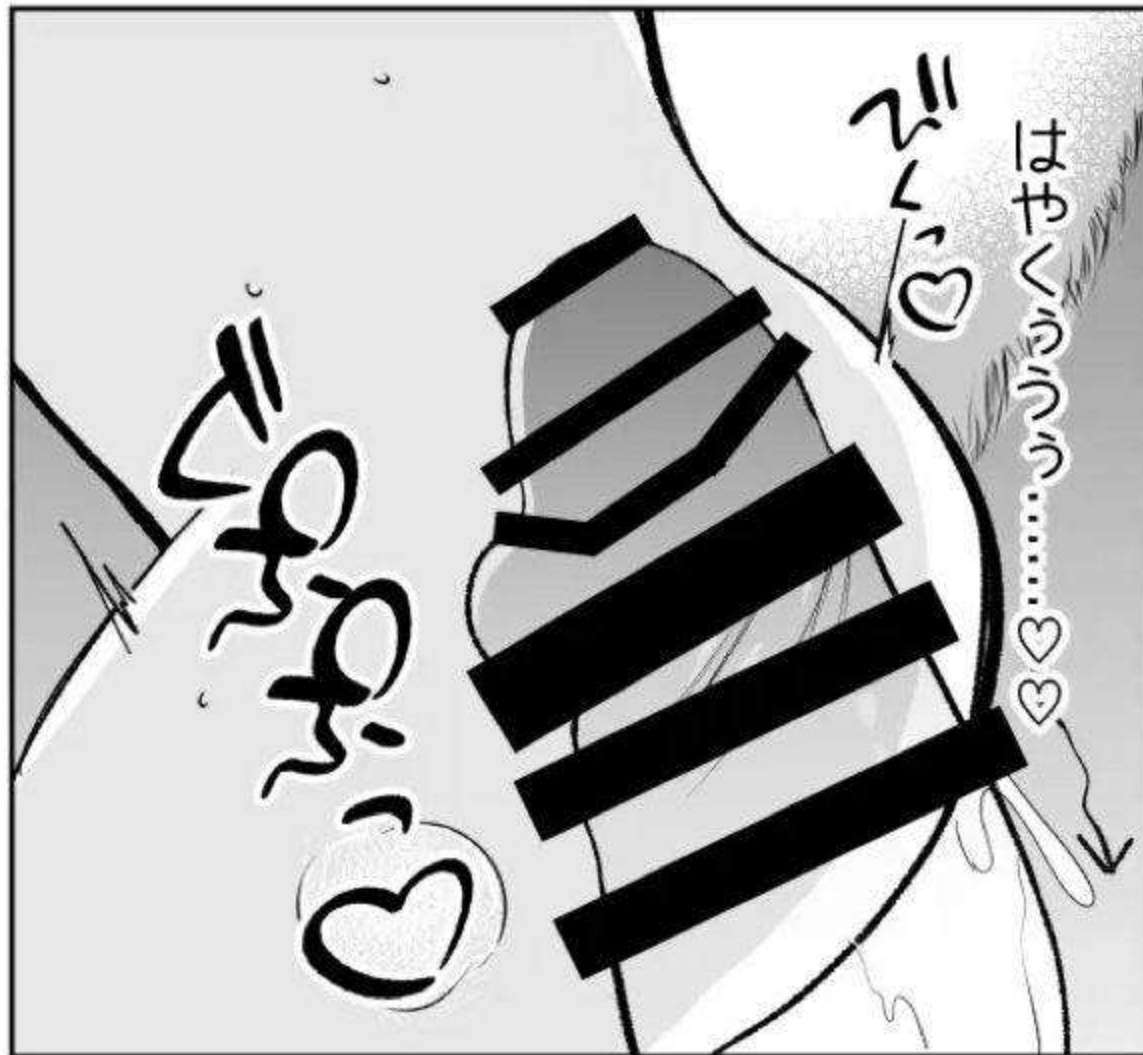
まるで本物の玩具
みたいだ

いっそのこと奴隷も辞めて
玩具に変えてしまうのも
いいかもしれないなあ？

いっしめんなさい！
いっしめんなさい！！

うっしめんなさい！！

動きますからっ！！





気が変わった

くるし

安心しろ
落としたりしない

息が

やっぱりお前は
乱暴に使われる方が好き
そうだなあ？♡

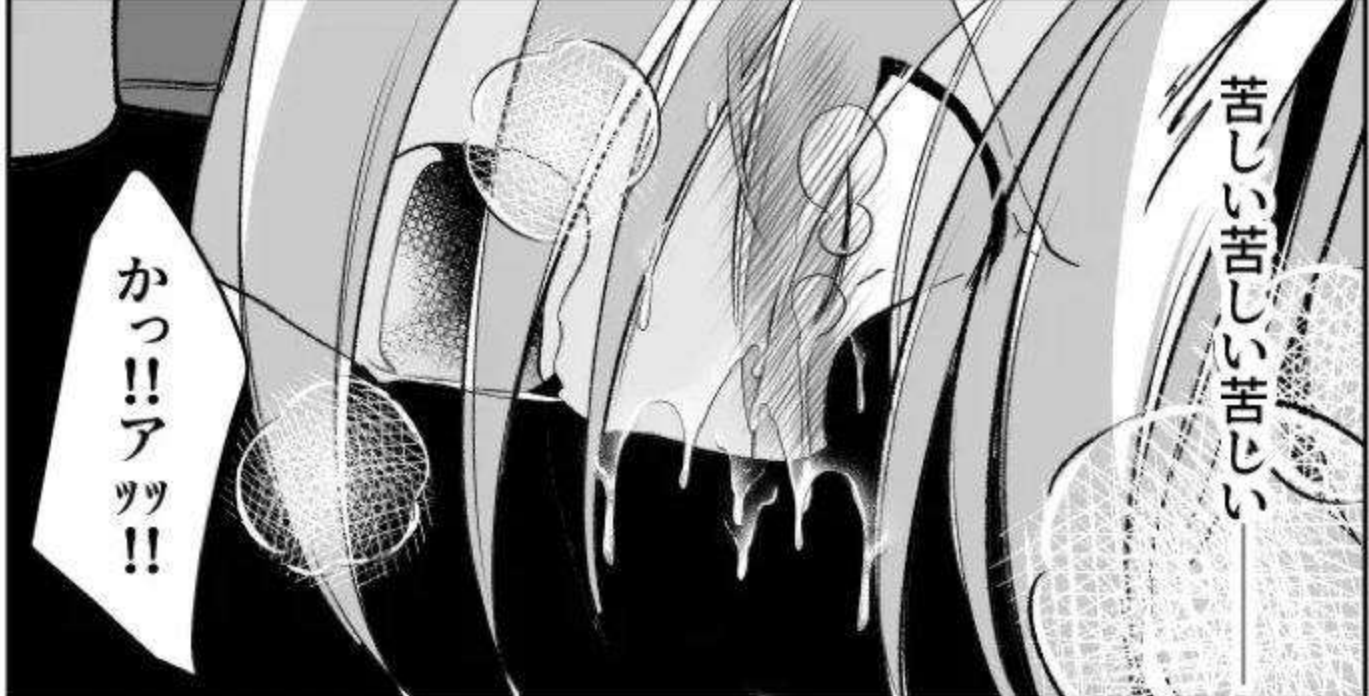
あんなお粗末なピストンじゃ
いつまで経っても終わらないぞ？

私はそこまで待てる
性分ではないんだ

お前が気絶するか
私がいくか
どちらが先か見ものだなあ？♡

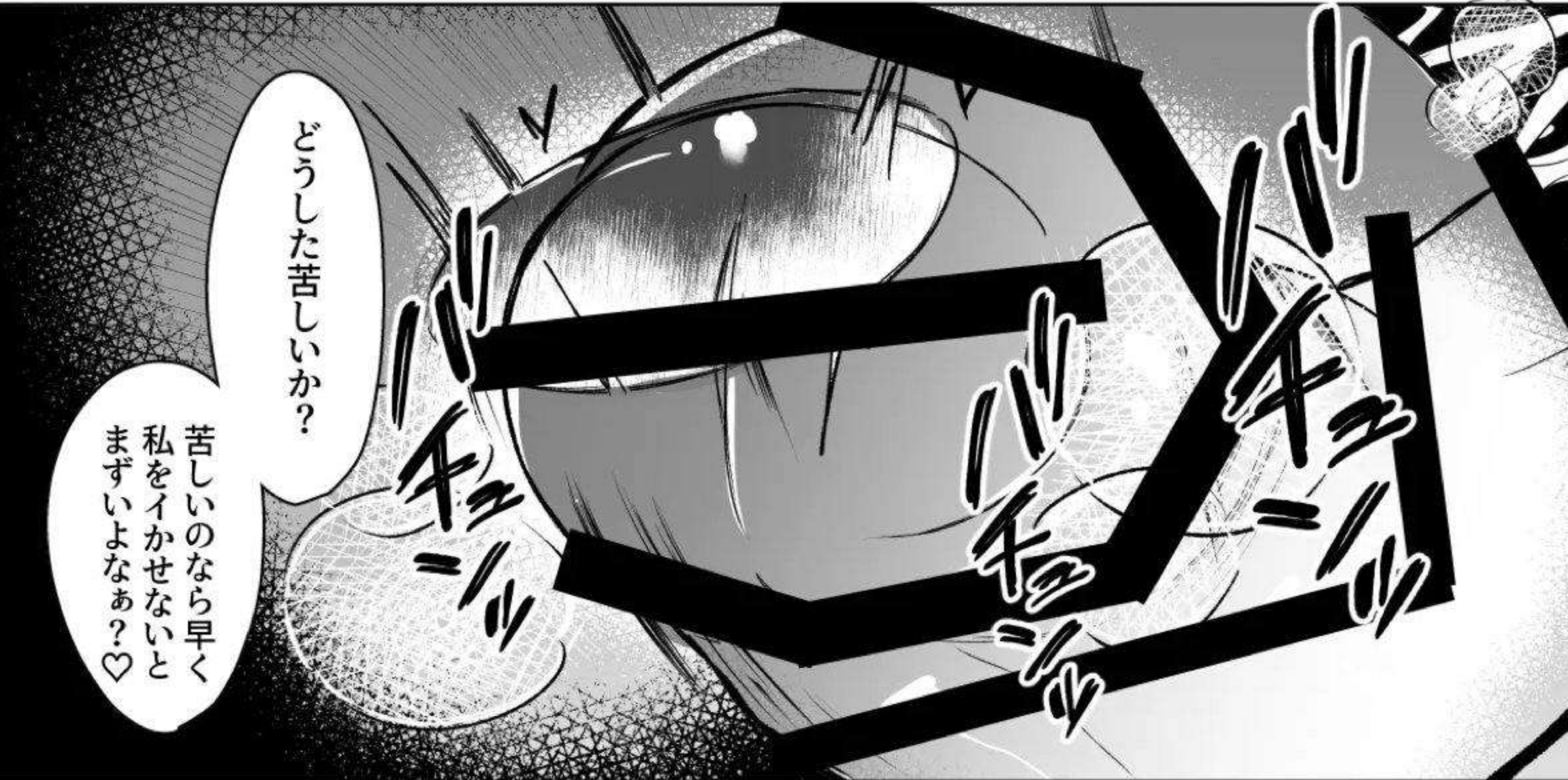


苦しいのがずっと



苦し苦し苦し

かつ!!アツ!!



どうした苦しいか?

苦しいのなら早く私をイかせないとまずいよなあ?♡



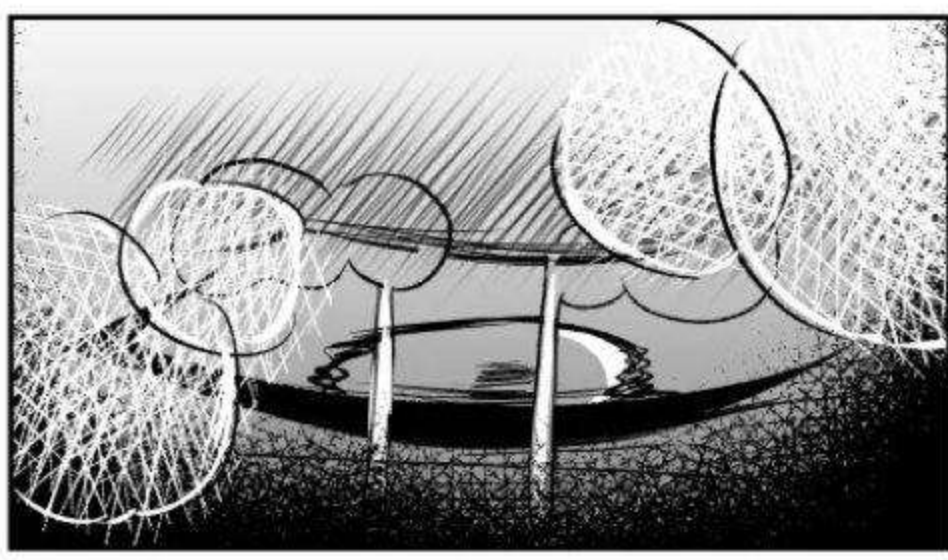
気持ちいいのとまんない

でもさっきからずっとアナルびくつかせて

ところでん垂れ流して悦んでる変態には

これもご褒美になってしまふなあ♡

壊れちゃう♡♡♡





よく頑張ったな

僕の居場所はここだけ

ご主人様が居てくれたらそれだけで
